

新型コロナウイルス感染症に係る京都市保健所の対応状況について

1 京都市内における新型コロナウイルス感染症の発生状況

別紙参照

2 第5波における取組

(1) 保健所体制について

- ・ 保健所が実施する積極的疫学調査等の専門職のマンパワーを必要とする業務を、より迅速、適切に実施するため、臨時に保健所業務に従事いただく専門職による応援チーム「京都市版 I H E A T」を市内の看護系大学等の協力を得て、結成
- ・ 災害とも呼べる爆発的な感染拡大状況に対応するため、最大で154名の応援職員の増員を図り、従来の約2倍となる324名の保健所体制により、全庁一丸となって取組を推進する体制を構築

(2) 在宅療養者への対応について

- ・ 在宅療養者に対し、速やかに適切な健康観察を実施し、より丁寧に在宅療養者のリスクを把握し、必要な医療との連携を行うため、各エリアでの訪問看護ステーション等との連携を推進
- ・ 在宅療養者のリスクをしっかりと把握するため、京都府医師会の医師が電話での診療により、病状把握・療養上のアドバイス、服薬処方の実施、保健所が実施する陽性者外来や入院の調整業務との連携（中和抗体薬の治療の適応のある患者の把握や投薬実施医療機関の調整含む。）といった適切な治療につなげる「京都市電話診療所」の開設
- ・ 京都府医師会と連携し、医師が新型コロナウイルス感染症患者の発生届を保健所に届け出る際に、重症化リスクチェックシートの提出を求め、いち早く中和抗体薬の治療につなぐことができるよう体制を構築
- ・ 感染の可能性があるとしてPCR検査の対象となり陰性であった方又はその同居者に対し、家庭内感染等を防止するための民間旅行会社と連携した宿泊施設のあっ旋について、宿泊費用の一部補助を充実

(3) 検査、医療提供体制について

- ・ 800を超える医療機関で検査が実施できる体制が確保され、症状がある場合は、まずは身近な医療機関に御相談いただき、医師が必要と判断した場合、速やかに検査を受検できる仕組みを構築
- ・ 医療提供体制について、府市連携の下で拡充を図り、病床については、新たに専用病床を94床確保、さらに入院待ちの患者を一時的に受け入れる「入院待機ステーション」を30床設置し、計738床に拡充するとともに、宿泊療養施設についても、9月1日以降新たに1施設追加し、826床から1,126室とするなど大

幅な拡充を実現

(4) ワクチン集団接種について

- ・ 地域の医療体制を活かし、950を超える医療機関に協力いただくとともに、24の集団接種会場を開設し、接種体制を構築。市民の皆様の御協力により、12月8日までに、12歳以上の82.92%、約106万人が1回接種（2回接種完了は、81.11%、104万人）
- ・ 集団接種には、京都府医師会、地区医師会、京都私立病院協会、京都府歯科医師会、京都府薬剤師会、京都看護協会をはじめとする医療関係の皆様、接種会場等の施設関係の皆様の御協力を得て、12月8日までに、約32万回の接種を実施。12月からは医療従事者等の皆様の3回目接種も開始
(集団接種会場については、[参考1](#)参照)

3 第6波に向けた取組

- ・ 必要な方が速やかに入院・入所できるよう円滑な運営に向けて京都府と連携し、さらなる病床、宿泊室数の確保や、稼働率を高めるための実施体制の確保を要望するとともに協働して取組を推進（専用病床を新たに37床確保、入院待機ステーションを30床から110床に増床する方針等、現在の738床から855床への大幅な拡充に向けて取組を実施）
- ・ 訪問看護ステーション等と連携した健康観察業務のさらなる充実
- ・ 感染拡大の予兆を的確に捉え、第5波の2倍の新規感染者数が出て迅速に対応できる最大434名の保健所体制を臨機応変に確立（[参考2](#)、[参考3](#)参照）
- ・ 京都府医師会や産婦人科医会との連携の下、在宅療養中の妊婦に対する産科的診療の初期対応に係る医療体制を構築
- ・ 後遺症の専用相談窓口として、11月19日より「きょうと新型コロナ後遺症相談ダイヤル」を府市共同で設置
- ・ ワクチン接種を促進するため、専用ポータルサイトや本市の公式ホームページに加え、未接種者への個別案内はがきの送付、本市広報誌や市政広報板ポスター、電光掲示板、公式SNS、特別番組のテレビ放送等、様々な媒体を活用し、広報・情報発信を実施

● 参考1 京都市の集団接種会場

接種会場	実施期間	出務等	優先接種等
旧北消防署	5/29～8/1	地区医師会	
西陣織会館	5/29～10/24 12/3～12/26	地区医師会 京都私立病院協会 京都工場保健会	妊婦の方
左京区役所	5/29～10/24	地区医師会	妊婦の方
中京区役所	5/29～8/1	地区医師会	
東山区役所	5/29～10/24	地区医師会	妊婦の方
山科区役所	5/29～8/1	地区医師会	
下京区役所	5/29～8/1	地区医師会	
イオンモール KYOTO	5/29～12/12	地区医師会 京都私立病院協会	妊婦の方，2回目 接種が困難な方
右京地域体育館	5/29～8/1	地区医師会	
葛野大路御池会場	8/7～10/24	地区医師会	妊婦の方
西京区役所	5/29～8/1	地区医師会	
ホテル京都エミナース	5/29～8/1	地区医師会	
イオンモール京都桂川	8/28～10/24	地区医師会	妊婦の方
伏見区役所	5/29～10/24	地区医師会	妊婦の方
深草支所	5/29～10/24	地区医師会	妊婦の方
醍醐地域体育館	5/29～10/24	地区医師会	妊婦の方
京都工場保健会診療所	6/1～12/24 (実施中)	京都工場保健会	妊婦の方，2回目 接種が難しい方
京都予防医学センター	5/31～8/2 9/27～10/28	京都予防医学センター	
京都市勧業館みやこめっ せ (モデルナ)	6/28～11/12	京都工場保健会	エッセンシャルワーカー，妊 婦の方，受験生 等，飲食・小売， 二十歳
京都看護大学	8/7～10/31	京都市立病院 京都看護大学	エッセンシャルワーカー，妊 婦の方
KBS ホール	8/10～10/21	京都第二赤十字病院 京都府歯科医師会	妊婦の方
京都市役所 (モデルナ)	9/18～12/26 (実施中)	京都私立病院協会 京都工場保健会 京都府歯科医師会	受験生等，飲食・ 小売，二十歳，2回 目接種が困難な 方
国立京都国際会館	10/2～10/30	京都大原記念病院 洛和会ヘルスケアシス テム 京都府歯科医師会	受験生等，二十 歳，2回目接種が 困難な方
京都国際マンガミュージ アム	11/5～12/18 (実施中)	京都工場保健会	

● **参考2** 第6波を想定した保健所体制の強化

第5波の1週間の感染者ピーク（8月20日～8月26日の2,475人）の2倍の週4,000～5,000人と想定し、体制の強化を図る。（5,000人を超えることが想定されるに至る場合は更なる拡充）

【7日間の新規感染者数に応じた応援体制比較】

従来	職員数		新基準	職員数
80人以上	85	➡	250人未満	124
150人以上	90		250人～ 499人	164
250人以上	106		500人～ 999人	210
400人以上	121		1000人～2499人	311
設定なし	—		2500人～3999人	380
650人上	137		4000人～5000人	434
設定なし	—			
設定なし	—			
設定なし	—			

※ 各体制の新規感染者数の上限を目安に必要な人数を確保

※ 応援体制の確保にあたっては、感染者数に応じた必要な業務が遅滞なく行えるよう、あらかじめ各局区等に応援職員の確保を依頼し、応援職員の名簿を作成しておくとともに、基準の7割程度となった段階で、具体的な調整を行っていくことで、確実な体制構築を実施

● **参考3** 保健所の新型コロナ対応に係る職員体制の推移

	8月25日時点	8月31日時点	体制強化後（最大時）
保健所体制	170名	324名	434名 (+110)
うち本体職員（医療衛生企画課・人材派遣）	85名	85名	124名
うち応援職員（IHEAT含む）	85名	239名	310名

感染者累計（R3.11.30時点）：24,457人

うち、感染経路判明分 12,558人（51.3%）
感染経路不明分 11,899人（48.7%）

